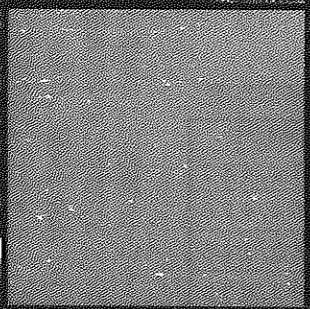
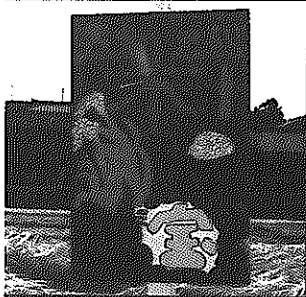




特集 みんなで考えよう 路線バス



CONTENTS (もくじ)

- みんなで考えよう路線バス..... 2、3
- 医療費の患者負担等が変わります... 4、5
- 市政クリップ、おしゃべりさろん... 6、7
- まちの話題..... 8
- 市民芸能発表プログラム..... 9
- お知らせ..... 10~13
- みんなのページ..... 14
- ズームアップ..... 16

表紙 白根小学校5年生稲刈り

広報 しるね

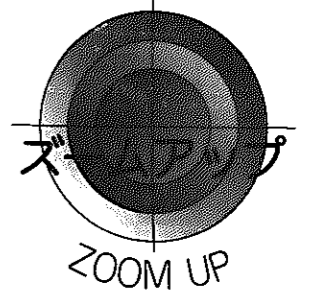
10.1

2002 No.624

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。



写真左から長井さん、笠井さん、小山君、小堀さん、田沢さん、吉村さん



西関東吹奏楽コンクールで銀賞を受賞

吉村実沙子さん、田沢この実さん、小山剛君、小堀里恵さん、笠井美穂さん、長井珠美さん

日本文理高等学校三年生の吉村実沙子さん(十七歳・旭町三)と田沢この実さん(十七歳・新山崎町)、二年生の小山剛君(十六歳・日の出町)と小堀里恵さん(十六歳・大通南三)、一年生の笠井美穂さん(十六歳・桜町三)と長井珠美さん(十六歳・浦梨)が、九月六日に山梨県で開催された「西関東吹奏楽コンクール」(以下西関東大会)で銀賞を受賞しました。

六人は、過去に全国大会を含む数々のコンクールに出場している同校の吹奏楽部に所属しています(現在三年生は引退)。同部は大会に向けた練習以外にも、保育園や商店街などからの依頼による演奏や、中学生の楽器指導などを行っています。また、白根市内からも同部へ演奏依頼があり、今年度で廃校となる庄瀬中学校の校歌などを取めた記念CDの演奏を担当しました。

八月三十日、三十一日には横浜市内で開催された「全国高等学校吹奏楽大会」に県代表として選ばれ、審査員長賞を受賞。西関東大会(前出)では銀賞となり、惜しくもその上の全国大会へは行けませんでした。七年度連続での西関東大会出場は、日本文理高等学校吹奏楽部だけだそうです。

西関東大会について六人は「がんばったので悔いはないです」(吉村さん)、「心に残る演奏ができた」(田沢さん)、「先輩たちと全国に行きたかった」(小堀さん)、「がんばりました」(小山君)、「上の大会に行けてうれしかった」(笠井さん)、「楽しく演奏できた」(長井さん)と、それぞれ振り返ってくれました。

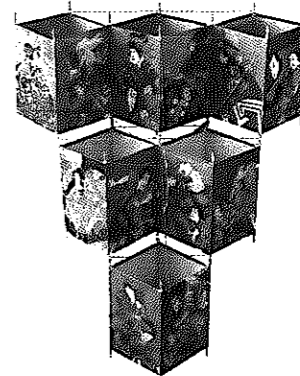
箱 凧 (ボックス)

(栃木県宇都宮市)

日本で生まれた凧ではありません。欧米で作られました。飛揚性、安定性ともに抜群の凧です。飛行機の研究、開発に大きく寄与しました。七〇年代、日本の凧が沈滞していた時代でした。立体凧という目新しさにひかれて、箱凧を揚げる人も現れました。

六個の箱凧が逆三角形型に、立体的に組み立てられています。「暫」「鳴神」「本朝二十四孝」など、歌舞伎の名場面が金色の地に色鮮やかに描かれています。日本の凧の特性である絵の美しさ、造形の面白さを見事に結合させた箱凧の名作です。

また、作者の小林清さん(宇都宮市)



あなたも凧博士

文・田村和雄
(しるね大風と歴史の館運営委員会)

▶数字で見る市勢 ※9月1日現在 ※()内は前月比

人口	40,805人 (+1人)
男	19,986人 (+6人)
女	20,819人 (-5人)
世帯	11,397世帯 (+12世帯)
出生	29人 死亡 29人
転入	80人 転出 79人

8月中

編集ルーム

◎インドネシアの農業研修生(24歳)が、2泊3日でわが家にホームステイしました。◎4月から佐渡で農業実習している彼は、わずか5カ月で日本語をほぼマスター。佐渡弁まじりの言葉で、家族みんなと楽しく会話をしました。◎イスラム教徒の彼のおかげで、豚肉から牛肉へちよっと食卓が豊かになりました。◎帰国する11月末まで、有意義な研修ができますように。(ひ)